

水戸市

MITO City

■概要／人口：**269,763人**

年間観光入込客数：**3,741,700人**

■由来／水の出入り口を意味する「水の戸」という意味の「みと」を市名としました。

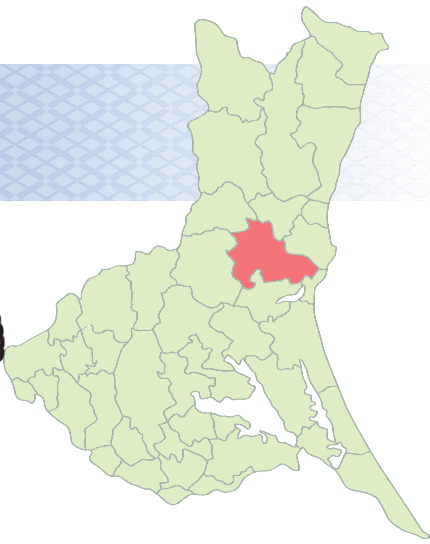
■市の花／萩

木／梅

鳥／ハクセキレイ



みとちゃん



江戸時代から本県の行政、経済、文化の中心地として発展を遂げる水戸市。市の中心部に千波湖を抱え、平成27年4月に日本遺産に認定された日本三名園の一つ偕楽園や弘道館など歴史文化遺産が数多く残されています。また、JR常磐線、JR水戸線、JR水郡線、鹿島臨海鉄道大洗鹿島線などの鉄道、国道6号、50号、51号、118号など交通の便が良く、県庁のほか国の出先機関や大手企業の支店なども集中し、人と文化の交差点としての役割を果たしています。歴史的にも貴重な史跡が数多く、縄文時代の大串貝塚や吉田古墳、愛宕山古墳、長者山遺跡などもあり、古代からの繁栄を物語っています。

弘道館

天保12年(1841)に「水戸が天下の魁となり、日本の国家を護り将来へ発展できる優秀な人材を育成する」ことを目的とし、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公が創設。「正庁」「至善堂」「正門」は国指定重要文化財となっています。早春には、約60品種800本の梅が咲き誇り、偕楽園とともに水戸の梅まつりの開催会場となっています。また、平成27年4月24日には我が国の文化・伝統を守る日本遺産に認定されました。



スポット

国指定重要文化財

保和苑

元禄時代、水戸藩第2代藩主徳川光圀公が寺の庭を愛されて「保和園」と名付けられたのがはじまりです。昭和初期の拡張整備によって、純日本庭園となり、名前も現在の「保和苑」となりました。初夏には、約100種6,000株のあじさいが咲き競い、水戸のあじさいまつりが盛大に開催されます。また、春には桜、秋には紅葉したもみじで苑内が色づきます。令和2年には、水戸市地域文化財に認定されました。



スポット

光圀公ゆかりの庭園

水戸芸術館

水戸市市制施行100周年を記念して、平成2年3月22日に開館したコンサートホール、劇場、現代美術ギャラリーをもつ複合文化施設。100mある螺旋状のタワーの展望室(86.4m)からは、水戸の街並みを眺望することができます。音楽、演劇、美術各分野において、国内外で活躍するアーティストによる様々な芸術活動が行われ、平成25年4月からは世界的指揮者である、小澤征爾氏が館長を務めています。



スポット

螺旋状のタワーが目印

水戸ホーリーホック

平成6年にFC水戸として創立し、平成12年よりJリーグへ加盟。ホームスタジアムはケーズデンキスタジアム水戸になります。クラブ名の「ホーリーホック」は英語で「葵(タチアオイ)」を意味し、水戸藩(水戸徳川家)の家紋の葵にちなんで名づけられました。マスコットキャラクターは龍がモチーフの「ホーリーくん」で背番号は310(みと)。



スポット

1994年創設のクラブ

偕楽園

天保13年(1842)に水戸藩第9代藩主徳川斉昭公によって造られ、金沢の兼六園、岡山の後楽園とともに日本三名園の一つに数えられています。偕楽園の名称は、「孟子」の「古の人は民と偕に楽しむ、故に能く楽しむなり」という一節からとられています。早春には約100品種、3,000本の梅の花が咲き誇り、梅の名所として親しまれているほか、桜やつつじ、萩といったように季節によって様々な顔をのぞかせます。好文亭3階の「楽寿楼」から眺める、千波湖や田鶴鳴梅林(たづなきばいりん)、四季の原といった雄大な自然の景観は格別です。



スポット



日本三名園の一つ

水戸黄門まつり

水戸の風物詩として愛されるまつり。日本一の花火師による「水戸偕楽園花火大会」や、参加して楽しめる「水戸黄門提灯行列」や「ふるさと神輿の渡御」のほか、山車巡行、神輿渡御、水戸黄門カーニバルなど、多数イベントが開催されます。



イベント

令和元年にリニューアル!

水戸の梅まつり

明治29年、水戸と上野を結ぶ鉄道が開通し、梅の花を楽しむための列車が走ったことがきっかけではじまったお祭り。偕楽園には、約100品種3,000本の梅が咲き誇り、早咲き、中咲き、遅咲きと開花の時期が異なる様々な品種の梅があり、長い期間梅の花を楽しむことができます。期間中の土曜、日曜日、祝日限定で偕楽園臨時駅が開設されます。



イベント

3,000本の梅が咲き誇る

茨城ロボッツ

平成25年つくば市にてクラブ創設。平成28年7月に本社を水戸市に移転し、同年9月にBリーグが開幕。茨城県唯一のプロバスケットボールチームとして活動しています。平成29年9月にまちなかスポーツ・にぎわい広場(M-SPO)を開設し、まちづくり事業にも注力。地方創生のさがきがモデルを目指しています。ホームアリーナは平成31年4月に開館した「アダストリアみとアリーナ」。マスコットキャラクターは「ロボスケ」です。



スポット

プロバスケットボール

提灯

岐阜や八女とならび「提灯の日本三大産地」に数えられる水戸の提灯は、「水府提灯」の名で知られ、堅牢なつくりが特徴です。



お土産

グルメ

うなぎ

水戸周辺は、かつてうなぎの名産地のひとつでした。市内には、江戸前うなぎを提供する老舗店が点在します。

お土産

グルメ

植物公園



スポット

テラスガーデン、芝生園、ロックガーデンなどからなる洋風庭園。平成29年4月にリニューアルオープンした「水戸養命酒薬用ハーブ園」では、「ハーブガーデンエリア」と「江戸時代の水戸藩にまつわる薬草エリア」の2つのエリアを楽しむことができます。

七ツ洞公園



スポット

大小5つの池とその池を支える5つのダムや周辺の森からなる英国風景式の庭園です。秘密の花苑や南北のパビリオンを結ぶ森の園路を散策しながら、ダムの水の流れなどが楽しめます。

備前堀



スポット

水戸藩初代藩主徳川頼房公の時代、灌漑用水と桜川・千波湖の洪水防止のため、伊奈備前守忠次(ただつぐ)に命じ、築かれた用水堀で、伊奈「備前」守忠次の名から「備前堀」といいます。

笠原水源



スポット

徳川光圀公が徳川頼房公の遺志を継ぎ、水戸下町(現在の下市地区)の給水難を解消するために作られた、約10kmにも及ぶ上水道の水源。日本国内で18番目に古い上水道です。

水戸藩らーめん



グルメ

ラーメンを日本で初めて食べたのは、徳川光圀公といわれています。その当時の味を再現したもので、茨城県特産のレンコンの粉を麺に練りこみ、5辛と呼ばれる薬味が添えられているのが特徴です。

梅酒



お土産

明利酒類の「百年梅酒」は、平成20年に開かれた梅酒の全国大会で、日本一となった銘柄。水戸では全国から集めた梅酒の飲み比べができる「全国梅酒まつりin水戸」なども開催されています。

納豆



お土産

水戸名物といえば納豆

源義家が永保3年(1083)に、水戸市の渡里町の一盛長者の屋敷に泊まった折、馬の飼料に作った煮豆の残りを藁で包んでおいたところ、煮豆が自然に発酵し、納豆ができたといわれています。水戸の納豆が全国に有名になったのは、明治22年の水戸駅の開業に合わせ、駅前広場で売り出されたのがきっかけとされています。

笠間市

KASAMA City

■概要／人口:73,921人

年間観光入込客数:3,556,900人

■由来／笠間地区(合併前の旧笠間市)の土地全体が「すげ笠」に似ており、すげ笠を裏返しにしたような土地の間に里があることから名づけられたとする説など諸説あります。

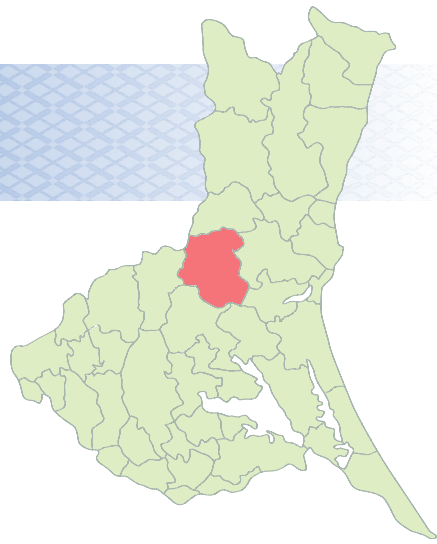
■市の花／さく

木／さくら

鳥／うぐいす



笠間のいな吉®



豊かな自然に恵まれた笠間市は日本三大稲荷の一つ笠間稲荷神社の門前町として古くから発展。鎌倉時代から江戸時代にかけては佐白山を居城にした笠間氏によって城下町がつくられました。以降、江戸時代も発展を続け、歴史を感じる史跡や祭事、郷土芸能が数多く伝承されています。近年は「陶芸のまち・笠間」として陶芸家が多く住むことから、県内でも屈指の芸術スポットが多く、茨城県陶芸美術館や笠間日動美術館などの美術施設や窯元に多くの美術ファンが訪れます。

観光カレンダー

4月29日～5月5日	笠間の陶炎祭
4月中旬～5月中旬	笠間つつじまつり
8月中旬	笠間のまつり
10月上旬頃	かさま新栗まつり
10月上旬	笠間浪漫
10月中旬～11月下旬	笠間の菊まつり
12月第3日曜日	悪態まつり

笠間稲荷神社

1350余年の歴史を誇り、日本三大稲荷の一つとされている「笠間稲荷神社」。江戸時代末期に建てられた御本殿は、彫刻が優れていることから、昭和63年に国の重要文化財に指定されています。御祭神は宇迦之御魂神(うかのみたまのかみ)。生命の根源を司る「いのち」の根の神として、農業、工業、商業、水産業などあらゆる殖産興業の守護神として、人々の生活すべてに御神徳を授けてくださる神様です。境内に生える二株の藤は、樹齢400年にも及ぶもので、八重の藤は、昭和42年に県の天然記念物に指定されています。



日本三大稲荷の一つ

スポット

笠間工芸の丘

陶芸体験が楽しめる

笠間芸術の森公園内にあり、散歩やピクニックに最適です。施設内ではろくろ、手ひねりを体験できる体験工房のほか、様々なクラフトワーク体験ができます。また、近くには「茨城県陶芸美術館」もあり、最高水準の芸術品に触れることができます。笠間焼を中心としたお土産コーナーやカフェラウンジも充実しています。



スポット

筑波海軍航空隊記念館

大戦の歴史を残す史跡

笠間市には、地下戦闘指揮所など、貴重な海軍航空隊史跡が現在も残されており、過去から未来へ目を向ける様々なきっかけを与えてくれる場所として多くの人々に感銘を与えています。ベストセラー小説をもとにした映画、『永遠の0』のロケ地にもなりました。



スポット

茨城県陶芸美術館

陶芸の魅力を紹介

「伝統工芸と新しい造形美術」をテーマに、平成12年、誰もが気軽に立ち寄れる県立美術館として開館しました。国内外の優れた作品を鑑賞できる企画展や、茨城県ゆかりの文化勲章受章者 板谷波山・重要無形文化財保持者 松井康成のコレクション展、笠間焼の歴史や技法を紹介するコーナーなど、笠間焼・陶芸の魅力を広く発信しています。



スポット

春風萬里荘



スポット

陶芸や書道など、多方面で才能を発揮した芸術家・北大路魯山人の鎌倉の住居を笠間の地に昭和40年に移築。内部には、自らが設計した茶室など、魯山人の美意識が随所にみられます。

ETOWA KASAMA



スポット

愛宕山山頂付近にあるグランピングやキャビンははじめとしたアウトドアリゾート施設。施設内にはアウトドアバーやファイヤープレイスがあり、非日常で上質な空間を家族や友人と過ごすことができます。

北山公園

水と緑と花のオアシス

山の起伏をそのままに活かした園内では、高さ23mの展望台や長さ161mのローラー滑り台が大人気です。オートキャンプ場やバーベキュー場(要予約)もあり、ゴールデンウィークや夏休みには多くの家族連れで賑います。



スポット

石の百年館



スポット

約100年に及ぶ採石の歴史が、貴重な資料と共に解説・展示されています。外壁には、日本伝統の「杉綾文様」が取り入れられるなど、稲田石材業の加工技術の高さを物語っています。

かさま歴史交流館井筒屋



スポット

明治中期建築の「旧井筒屋旅館本館」を当時の雰囲気のまま観光交流拠点ヘリノベーションした施設です。カフェや歴史展示コーナーを設け、一年を通して企画展やイベントを行っています。

笠間いなり寿司

笠間名物のいなり寿司

ご当地グルメ「笠間いなり寿司」。笠間といえば笠間稲荷神社、稲荷神社といえばキツネ、キツネといえば油揚げ、油揚げといえば「いなり寿司」。その特徴は、そば・くるみ・舞茸など様々な素材を使った「変り種いなり寿司」という点。お店によって様々な種類のいなり寿司を提供していますので、それぞれのお気に入りを探すのもおすすめです。



グルメ

笠間の栗

日本有数の栗の産地

笠間市は、全国有数の栗の産地となっており、穏やかな気候と火山灰土壌により、日本一と名高い栗が生産されることで知られています。毎年秋には、人気の栗菓子の販売や栗の試食・販売、いが栗を使ったゲームが楽しめる「かさま新栗まつり」も開催され、期間中には多くのお客様が賑わいます。秋の味覚の代表格、日本一の笠間の栗をぜひご賞味ください。



お土産

茨城県絶滅危惧種 駒場地区のクリン草



スポット

湿地に生育するサクラソウ科の多年草であり、50cm近い茎に赤、白、ピンク、紫などの花が下から階層を作るように咲きます。県の絶滅危惧種に指定され、毎年5月に開花を迎えます。

笠間のまつり



イベント

笠間の夏を彩る毎年恒例のまつり。市民手作りのものから、本場青森の迫力のあるもので、多くのねぶたがパレードを行う「光のオブジェ(ねぶた)&神輿パレード」は圧巻です。

笠間の陶炎祭

笠間が陶器色に染まる

200名を超える作家や窯元が参加し、毎年50万人を超える観光客で賑わう笠間焼の一大陶器市。期間中は笠間焼の展示販売はもちろんのこと、「マイ猪口倶楽部展」などの企画展や作家が制作した「土面オークション」などが行われます。また、地元小学生が制作した土面を一堂に展示する「土面フェスティバル」など内容も盛りだくさんです。



イベント

笠間つつじまつり



イベント

昭和42年の市民によるつつじ一株運動によりはじまりました。園内には様々な品種のつつじが植えられており、最盛期には小高い山一面が燃えるように真っ赤に染まります。

笠間の地酒



お土産

笠間市では、平成25年12月に「笠間市地酒を笠間焼で乾杯する条例」を制定。笠間の地酒を笠間焼の器で乾杯する習慣を広めることで、まち全体を盛り上げています。

小美玉市

OMITAMA City

■概要／人口：**50,807人**

年間観光入込客数：**2,030,300人**

■由来／平成18年に「小川町」「美野里町」「玉里村」が合併し、歴史ある3町村の頭文字の1文字をとって「小美玉市」と命名。小さな玉が美しく磨かれていく、そんな夢の持てる市になるようになど、市を愛する多くの人々のさまざまな想いがあります。

■市の花／コスモス

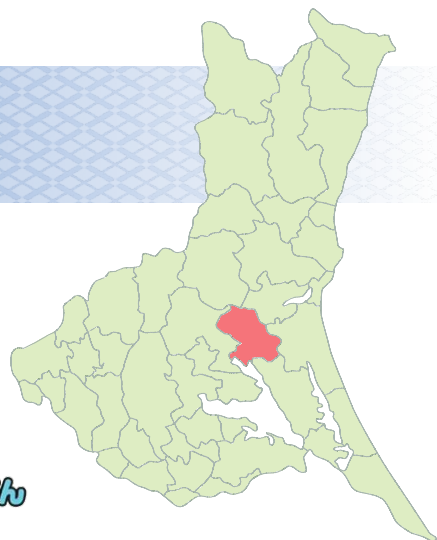
木／ケヤキ

鳥／シラサギ

茨城県の中南部、霞ヶ浦の北端に位置し、市の東部には航空自衛隊百里基地と民間共用化した「茨城空港」があり、北関東の空の玄関口として、中国などの国際線をはじめ、札幌、神戸、福岡、沖縄など人気都市を結ぶ重要なアクセスとなっています。また、農業も盛んで、鶏卵の生産量は日本第1位、生乳の生産量県内第1位となっており、畜産大国でもあります。さらに、ヒーリングスポットでもある霞ヶ浦湖岸から、年に数回しか見ることのできない筑波山に太陽が沈む「ダイヤモンド筑波」は、感動の光景です。



小美玉市マスコットキャラクター「おみたん」



観光カレンダー

4月上旬	小美玉さくらフェスティバル
7月中旬	小川祇園祭
7月下旬	アワアワ祇園
8月下旬	玉里魔神祭
8月下旬	ふるさとふれあいまつり
10月中旬	おみたま産業まつり

茨城空港

ローコストで使い勝手のよい空港として注目を集めています。なんと、駐車場は何日停めても無料。航空機を間近で見られる展望スペース、レストランもあり、お土産も豊富です。また、茨城空港では様々なイベントが開催されています。



スポット

空の旅をもっと手軽に

空のえき「そ・ら・ら」

素敵な笑顔にあえる食彩ひろばとして地元小美玉市の豊かな「食」を楽しめます。茨城空港から500mの場所に位置し、直売所、レストラン、ヨーグルトハウスなどをお楽しみいただけます。地域資源やその魅力を生かし、地産地消、交流、地域再生の拠点を目指す地域住民の思いが詰まった場所です。



スポット

空港から近い「食」のスポット

ダイヤモンド筑波



スポット

毎年5月中旬と7月中旬の年2回しか見られない夕景。筑波山の頂上付近に太陽が沈む景色は、幻想的で貴重な瞬間です。

カゴメ工場見学



スポット

カゴメの工場見学では、カゴメの歴史や現在生産している野菜ジュースについて学ぶことができます。見学の最後には、試食タイムもあります。

小川祇園祭

素戔神社の祭事で、約480年前に園部城主によって始められたと伝わり、祇園祭のはしりともいわれるお祭です。祭では山車や獅子が巡行し、賑やかなお囃子が響き渡ります。最終日には神輿が小川地内を練り歩き、多くの見物客が集まります。祇園祭当日は、歩行者等の交通安全を図るため、一部区間で交通規制が行われます。



イベント

祇園祭のはしりにも言われる祭り

ふるさとふれあいまつり

毎年8月の終わりに希望ヶ丘公園で行われます。前夜祭から始まり、本祭では市内の子ども達による「GENKIステージ」やキャラクターショー、よさこいソーラン等が行われます。市内の各種団体による模擬店「バザール・おみたま」や「豊年踊り大会」、フィナーレには夜空を彩る「花火大会」が盛大に行われます。



イベント

子どもから大人まで楽しめる

サイクリングロード



スポット

霞ヶ浦湖畔沿いにあり春には菜の花、秋にはコスモスが咲き誇るサイクリングロード。広大な霞ヶ浦や筑波山を眺めながらのサイクリングは爽快です。

希望ヶ丘公園のコスモス畑



スポット

希望ヶ丘公園近くの田んぼ一面に、咲き誇るコスモス畑。毎年9月下旬頃～10月中旬頃にかけて見頃を迎え、花の摘み取りもできます。

茨城町

IBARAKI Town

■概要／人口：**32,438人**

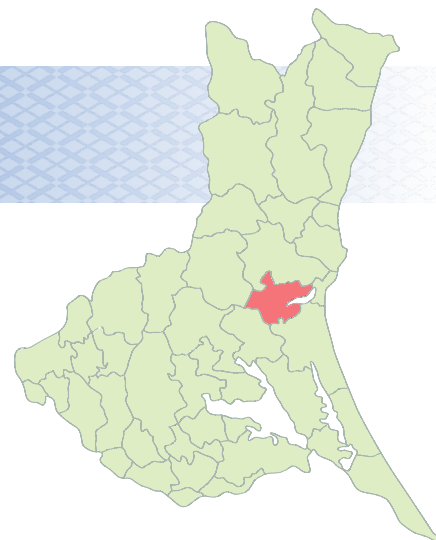
年間観光入込客数：**770,300人**

■由来／昭和30年に長岡村、川根村、上野合村、沼前村が合併。町名は公募によるもので、選定の理由は「茨城県の中央部に位置し、将来町政の発展において県下第一位の代表的な町として永く存続繁栄さすべき意味をあらわした」とあります。

■町の花／桜 木／梅 鳥／うぐいす



ひめ丸くん



観光カレンダー

6月中旬～7月上旬	ひめまあじさいまつり
7月下旬	あんばまつり
10月中旬	ひめまdeマルシェ
11月上旬	いばらきまつり

涸沼自然公園

涸沼を一望できる「太陽の広場」、石のモニュメントが美しい「展望広場」、遊具のある「わいわい広場」、約1万株のあじさいが楽しめる「あじさいの谷」、丘の間を小さな溪流が流れる「せせらぎ広場」などがあり、四季折々の味わいを楽しむことができます。公園の一部にオートキャンプサイトを兼ね備えたキャンプ場が併設されています。

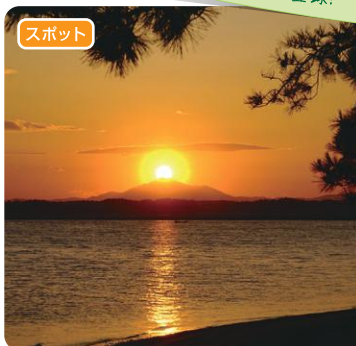


スポット

涸沼を一望できるスポット

涸沼

涸沼は、関東地方では唯一、淡水と海水が混じり合う汽水湖です。涸沼で発見された絶滅危惧種のヒノマイトトンボが生息していることでも有名。平成27年5月にはラムサール条約湿地に登録されました。ラムサール条約は水鳥が生息する重要な湿地とその動植物の保全などを目的とした条約であり、涸沼の自然環境が国際的に認められました。



スポット

ラムサール条約湿地登録!

ポケットファームどきどき

ポケットファームどきどきは、「自然」と「農業」と「食べ物」をテーマにした、農業体験型レジャー施設です。穫れたての旬の野菜・果物そして手作りハム・ソーセージ、パン等の加工品を販売しています。また、好きなものを好きなだけ楽しめる、フリー(ブッフェ)スタイルの「森の家庭料理レストラン」や親子で体験できる「ソーセージ教室」なども人気です。



スポット

旬な野菜・果物・ハム・ソーセージが揃う

涸沼自然公園キャンプ場



スポット

涸沼自然公園の中にある涸沼自然公園キャンプ場。AC電源付きオートキャンプサイトは56区画、テントサイトは最大250張が設営できます。

涸沼のしじみ



お土産

涸沼の銘産として知られるヤマトシジミは、淡水と海水が混じる汽水域にのみ生育します。現在数が減ってきており、大涸沼漁業協同組合による種苗生産などの取り組みが行われています。

ひめまあじさいまつり

平成7年に全面オープンした涸沼自然公園には「あじさいの谷」があり、オープンした当時は株が少なかったため町の花生産組合から寄贈されたあじさいを植栽しました。約1万株の花が見頃になった平成22年から「あじさいまつり」を開催することになり、毎年多くの方が訪れるようになりました。

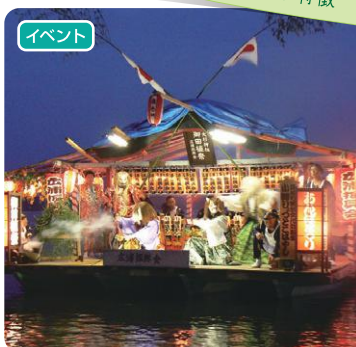


イベント

1万株のあじさいがお出迎え

あんばまつり

天保9年(1838)下石崎広浦地区に天然痘が流行り、桜川村阿波(現在：稲敷市)の大杉神社の分霊を祭ったところ治まったのが始まりといわれています。阿波の大杉神社は水上安全の神様ともいわれ、「あんばさま」の通称で信仰されています。涸沼の水上に「浮かぶ山車」が登場する全国でも珍しいお祭りで、おかめ・ひよっこ・キツネなどの面をかぶりお囃子に合わせ踊りを奉納します。



イベント

湖上に浮かぶ山車が特徴

大洗町

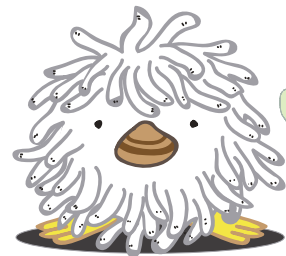
OARAI Town

■概要／人口：16,712人

年間観光入込客数：4,412,800人

■由来／波が砕け散る海岸にちなみ、太平洋の荒波がこの地を「大きく洗っている」ことからする説や「大荒磯(大あらいそ)」のなまったものとする説もあります。

■町の花／つつじ
木／松
鳥／かもめ



大洗町イメージキャラクター「アライッペ」



茨城県の太平洋岸のほぼ中央に位置する大洗町。ゆるやかな浜が続くビーチは、海水浴やサーフィンのメッカとなっており、県内屈指の海のレジャースポットです。また「大洗」という記述は平安時代の文献にもみられるほど歴史は古く、大洗磯前神社や願入寺など歴史ある寺社仏閣や東北地方と江戸を結ぶ水運の中継地として街も栄えてきました。日本三大民謡の一つである「磯節」が伝承されていたり、八朔祭など伝統的な祭りにその名残が残っています。四季折々で豊かな海の味覚を楽しむことができ、はまぐりや牡蠣、しらす、あんこうなどが名物です。

大洗サンビーチ海水浴場

大洗を代表する海水浴場

快水浴場百選にも選定され、澄んだ水と広いビーチが特徴の美しい遠浅の海岸。波がそれほど高くなくて子どもと一緒に安心して泳ぐことができ、入込客数は県下一を誇る。また、ユニバーサルビーチとして、障害を持った人でも安全に海水浴が楽しめるよう水陸両用の車いすの無料貸し出しや、専用駐車場、更衣室なども完備しています。



スポット

大洗マリンタワー

大洗のシンボルタワー

地上60mの大洗のシンボルタワー「大洗マリンタワー」。太平洋の一大パノラマが堪能でき、富士山、日光那須連山、筑波山を望むことができます。1階にはお土産館や観光案内所、2階には人気アニメ『ガールズ&パンツァー』とのコラボレーションカフェ「ガルパン喫茶Panzer vor」もあり、県外からも多くの人が訪れています。



スポット

大洗磯前神社

関東一の鳥居で有名

古くから「大洗さま」と親しまれてきた神社。平安時代に創設され、難病治療、家内安全、商売繁盛など、人々に幸を授けてくれます。拝殿は入母屋造で茨城県の文化財に、随神門は大洗町の文化財にそれぞれ指定されています。また、併設する大洗海洋博物館には、古来より使用されてきた海具や漁場模型が展示されています。



スポット

神磯の鳥居

平安時代前期の斉衡3年(856年)、神が降り立ったと言われる地。鳥居から昇る日の出を拝もうと大勢の人が訪れます。また、徳川光圀公が景観を称えた場所でもあります。



スポット

スポット

大洗サンビーチキャンプ場

波の音と潮風を味わう!

大洗サンビーチ海水浴場に隣接した、太平洋を望む丘に広がるバリアフリー対応のキャンプ場。レンタルサービスも充実しており、初心者でも安心してキャンプを楽しめます。



スポット

大洗町商店街

様々なイベントを実施

TVアニメ「ガールズ&パンツァー」の舞台となった商店街には、各商店にキャラクターパネルや戦車パネルが設置してあります。また、商店街に来た人がお店に入りやすいように店主のパネルを設置し、本日のおすすめメニューなどを掲載しています。



スポット

アクアワールド茨城県大洗水族館

サメの飼育種類数日本一!

約580種68,000点の世界の海の生物に出会うことができる水族館。特にシンボルマークであるサメの飼育に力を入れており、サメの飼育種類数54種類は日本一になります。人気は全天候型のオーシャンシアターで開催される「イルカ・アシカオーシャンライブ」。バックに大洗の海を望めるホールで、愛嬌たっぷりのアシカやダイナミックなイルカの演技が繰り広げられます。また、日本一の大きさであるマンボウ専用水槽や世界最大級のマンボウ剥製、世界最大のウバザメ剥製なども見ることができます。そのほか水族館では日本最大級のキッズコーナーなどがあります。



スポット

大洗あんこう祭

10万人以上が訪れるお祭り

冬の味覚あんこうを堪能する毎年恒例のイベント。あんこうの吊るし切りやあんこう汁の販売など、あんこうにちなんだ催し物が盛りだくさん。地元の特産品や友好都市物産展なども出だし、まさにグルメの祭典といった雰囲気です。TVアニメ「ガールズ&パンツァー」関連のイベントも行われます。



イベント

ビルフィッシュトーナメント&海の感謝祭

カジキ類を対象魚種として、釣り上げタグ&リリースを行い順位を競う大会。同日「海の感謝祭」を実施し、カジキ解体ショーやカジキ料理、郷土芸能などや様々なステージイベントを実施予定。



イベント

イベント

岩ガキ

夏バテに即効力があるとして広く食べられている岩ガキは、冬ガキの2〜3倍の大きさが特徴。特にこの時期は産卵を控えているため、旨味も栄養もたっぷりです。プリッとした触感とクリーミーなとろけ具合が生食の魅力です。



グルメ

グルメ

生しらす丼

生しらす丼といえば、大洗町漁協直営店「かあちゃんの店」。大洗港で水揚げされた旬の地魚を多くの人に気軽に楽しんでもらいたいという漁師の奥さんの想いからオープンしたお店です。

あんこう鍋

冬の風物詩・あんこう

「西のふぐ、東のあんこう」といわれるほど、「あんこう」はまさに茨城を代表する冬の味覚となっています。あんこうそのものは水分の多い白身で脂質は低く、魚介類の中でも非常にカロリーの低い食材です。身はやわらかく淡泊で上品な味わいですが、皮、胃、卵巣、えら、ヒレなどは弾力性に富んだ食感が特徴で、鍋などにすると噛むほど味が出ます。



グルメ

グルメ

たらし

もんじゃ焼きにも似た大洗のご当地グルメ。小麦粉を水でゆるく溶き、キャベツや切りイカ、卵、ネギなどお好みの具材を入れて醤油やソースで味付けしたシンプルな鉄板焼きです。



グルメ

グルメ

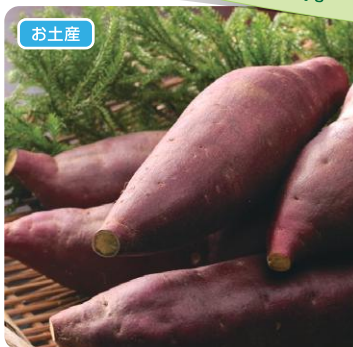
みつだんご

小麦粉で作った団子を焼いて串に刺し、砂糖や醤油、片栗粉などを混ぜた「みつ」を絡めさせ、きな粉をまぶした、大洗を代表するスイーツ。大正時代から続くこの土地のおやつです。

大洗ブランド認証品

大洗名産の紅あずまなど

大洗町のイメージ、特色ある地域資源を活用し、優れた農産物、水産物および加工品を大洗ブランドとして認証。これまで観光色の強かった本町に「食」のイメージを融合させ、更なるイメージアップと地域活性化を目的としています。大洗ブランド認証品となったのは、紅あずま、大洗産冷凍生しらすなど令和2年3月現在で32品目になります。



お土産

城里町

SHIROSATO Town

■概要／人口：18,352人

年間観光入込客数：537,700人

■由来／当地域が水戸城の北に位置し、昔から「城北(しろきた)地区」と呼ばれていたことから「城」。各町村に「ふれあいの里」「うぐいすの里」「山びこの郷」があったことや、日本のふるさとのイメージがあることから「里」という字を使い「城里」と命名。

■町の花／山ゆり
木／スダジイ
鳥／うぐいす

県の北西部に位置し、那珂川・藤井川・皇都川などの豊かな水源と、肥沃な大地を利用した稲作や園芸作物の栽培が盛んに行われています。お米をはじめ、古内茶・赤ネギなどの特産品や伝統の漆工芸である「栗野春慶塗」も有名です。また、「桂の雛人形」は全国でも少なくなった手づくりの雛人形です。キャンプや釣りなどが楽しめるレジャー施設「ふれあいの里」や温泉施設「ホロルの湯」、町内に7つあるゴルフ場などには県内をはじめ首都圏からも多くの方が訪れます。



ホロル

観光カレンダー

4月上旬	城里町花まつり
6月中旬	青山花しょうぶ祭り
7月下旬	しろさと七夕まつり
8月中旬	しろさとふるさとまつり
11月中旬	ホロルのたまご〜しろさと町民まつり〜

御前山(皇都川)

那珂川と織りなす景色は「関東の嵐山」と呼ばれています。標高156mで、子どもから大人まで気軽に登ることができます。昔、孝謙天皇が弓削道鏡を追い、密会していたという逸話が残っています。また、孝謙天皇がここに住んでいたことから、「御前」山の名前の由来になっています。皇都川は、御前山から那珂川に注ぐ川で、下流は伏流水で、見た目には枯れた川のように見えます。昔は洪水が頻繁に起き、これを弘法大師がお経を読んで、鎮めたため、水が流れていないといわれています。

スポット



関東の嵐山と呼ばれている

鶏足山

標高430.5m。弘法大師が修行した山といわれており、鶏石や護摩焚石などの逸話が残されています。鶏石は鶏の鶏冠のような形をしており、弘法大師が山中で鶏の鳴き声を聞いた際に石を見つけ、この石が鳴いたのだらうと考えたことが名前の由来と伝えられています。護摩焚石は、弘法大師が石の上で護摩を焚いて修行したという伝承からその名が付けられたとされています。

スポット



弘法大師伝説の残る山

ホロルの湯

スポット



「ホロルの湯」の泉質は、身体にやさしい単純アルカリ性で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、打身、慢性消化器病などに効果があります。

ふれあいの里

スポット



水戸ICから車で10分。キャンピングオートキャンプ場、バーベキューエリアがあり日帰りでも宿泊でも身近に自然を楽しめるキャンプ場です。

古内茶

お土産



茨城県三大銘茶の一つ。一番茶のみの生産で、ゆたかな香りと渋み、甘みが特徴です。かの水戸公園もその味の良さに感嘆したといわれています。

レッドポアロー

お土産



茨城県三大伝統野菜。鮮やかな赤紫色が特徴の赤ネギです。白ネギに比べ甘みが強く、熱を通すとさらに甘みが増し柔らかくなり、葉まで食べられます。

ななかいの里コシヒカリ

お土産



七会地区は、古くから良質米の生産地として知られ、かつては水戸藩への献上米に選ばれていた米どころです。この土地で、昼夜の寒暖差やよい水、よい土を味方につけ、厳しい管理のもと作られたななかいの里コシヒカリは、平成23年にお米日本コンテストで最優秀賞に選ばれ、その後も毎年入賞を果たしているブランド米です。噛めば噛むほど味がふくむ飽きのこないおいしさです。

お米日本コンテストで最優秀賞

桂の雛人形

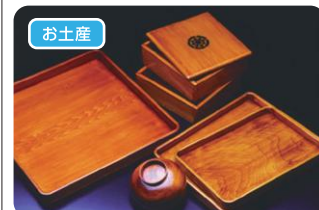
お土産



茨城県伝統工芸品にも指定されている全国でも少なくなっている手作りの雛人形。素材を吟味し、伝統的な工法によって生み出された雛人形です。

栗野春慶塗

お土産



日本三春慶の一つに数えられる日本最古の春慶塗。春慶塗は器物に透明な漆を塗り、木目が美しく透けるように仕上げる漆塗りの技法です。(県伝統工芸品)

県央地域周遊コース

県央地域
周遊
モデルコース
GUIDE

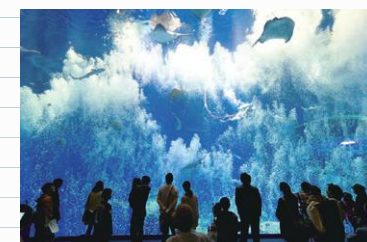
1 偕楽園 ＜水戸市＞



2 しらす井 ＜大洗町＞



3 アクアワールド 茨城県大洗水族館 ＜大洗町＞



Guide
book

4 国営ひたち海浜公園 ＜ひたちなか市＞



茨城県の豆知識②

『茨城県のナンバー1たち』



アクアワールド 茨城県大洗水族館
大洗町
サメの飼育種類数日本一の水族館

約580種68,000点の世界の海の生物に出会うことができる水族館。特にシンボルマークであるサメの飼育に力を入れており、サメの飼育種類数54種類は日本一になります。



牛久大仏
牛久市
ギネスブック認定、世界最大120mの立像大仏

青銅製の立像としては世界最大の高さを誇る牛久大仏(正式名称:牛久阿弥陀大佛)。阿弥陀如来は方便法身の大尊形として顕現されたもので、総重量は 4,000トン、高さは阿弥陀如来の十二の光明にちなんで120mとされています。



竜神大吊橋
常陸太田市
常設サイトでは日本一の高さ約100mからのバンジージャンプ

竜神ダムの湖上にかかる竜神大吊橋は、全長375mで歩行者専用橋としては日本最大級を誇ります。平成26年には、常設サイトでは日本一の高さである約100mからのバンジージャンプが体験できるようになり、人気を博しています。



国民宿舎 鶴の岬
日立市
宿泊利用率31年連続日本一を誇る絶景国民宿舎

「鶴の岬」は、昭和46年に開業した太平洋を臨むリゾート型の宿泊施設で、平成元年度以降 31年連続で国民宿舎の宿泊利用率第1位に輝いています。「鶴の岬」が建つ約 15haの伊勢浜国民休養地には、四季折々の美しい自然が広がります。